

都市計画新聞

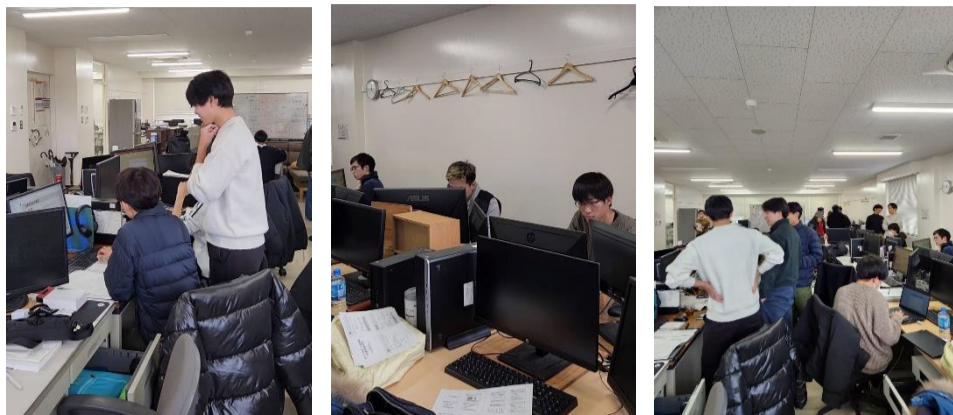
発行者：
田路・辻尾
野添・江種
黒岩・伊達
牧野・吉武

第2回中間発表

試行錯誤の研究の日々

DS作業の進化

1月に入り、今年もDSを用いた実験が始まった。今年も3名の4回生がDSを使った研究を行っている。ラウンドアバウト、運転技術評価のフィードバックによる眠気運転防止、ドライバの注意の誘導に関する研究の3つである。実験コースの作成を行うにあたり、3人に共通する懸念として、スクリプトが挙げられた。ラウンドアバウトの対向直進車



準備を進める発表者たち

の挙動、フィードバックシステム、視覚刺激の提示などをスクリプトで制御しなければならぬ。苦戦を強いられた。先輩の助力を得たり、近年話題のChatGPTを活用し、トライアンドエラーを繰り返しながら何とかスクリプトの作成を行うことができた。中でも、ChatGPTの技術の進歩が凄まじく、ChatGPTは私たちが行いたい挙動を的確に示すスクリプトを提案してくれた。苦意思識のあったスクリプトも、ChatGPTとの対話を重ねるうちに、スクリプトの構成や意味を少しずつ理解できるようになった。今後はAIに頼るだけでなく、1人でスクリプトが書けるようにこれからも精進していきたい。

また、この中間発表という場合は、自身の研究を発表するという目的があるのはもちろんだが、

他の発表を見ると、重要な内容が感じられる。研究の内容が大切なのは言わずもがなだが、その発表資料の作り方も同じように大切である。いくら研究内容が良くても、それを他者が理解できるように説明できなければ意味がない。

10月に行われた第1回目の中間発表で先生方から頂いた意見や感想などを踏まえながら、研究を続けてきたことの発表の場であった。まだ粗削りだった前回とは異なり、各々の研究内容が明確になり、実験結果なども揃い始めていたことから、発表の内容がより濃くなっていたように思う。仮説と結果が一致している人、そうでない人、それぞれが自身の研究に対する考察を行い、今後の方針を決めていた。

そのように、良い発表資料を作る技術を研究室全体で高めていくという効果も中間発表にはあるのではないかと思う。自分の番が終わったからと言って知らん顔をするのではなく、みんながどんな発表をしているのかをワクワクしながら見るのも1つの楽しみ方なのかもしれない。

2023年12月23日に2回目の中間発表が行われた。

研究資料の作成は、発表資料を見て、そのなややかたもあるのか、そうすると伝わりやすいかもしれない。といったように、自分1人では気づけなかったこと、思い浮かばなかったことを発見できる可能性がある。

2024年が始まり研究室は追い込みのムードが漂ってきている。今年も年明けから地震や航空機事故などショッキングな出来事が相次ぎ、すでに2024年の半分が終わったのではと錯覚してしまっているのではないだろうか。そんなスタートを切った2024年は辰年である。辰年は、権力や隆盛の象徴であることから、政治の大きな変化が起きることが多い年だといわれている。

5回しかない辰年のうちで3回目の総選挙が行われるなどまさに政治の年である。2012年の辰年では、東京スカイツリーが開業するなど大きな出来事が起きる年でもある。世界に目を向けてみると2024年は、ロシア大統領選挙をはじめとした世界的な「選挙イヤー」といわれている。また、フランスパリではオリンピック、パラリンピックの開催も予定されており、2024年は、辰年の例にもれず世界にとって重要な出来事や変革の年となる予感がする。

都市計 OG 情報

2023年に卒業された先輩にインタビューしました！

研究室での思い出
同期や先輩と夜な夜な研究の合間に大富豪をしたこと。夜中遅くまで先生とZoomで打ち合わせをしたり徹夜で卒論に取り組んだりしたこと。

仕事内容
市道の道路改良、交差点改良などの設計・発注 災害対応

名前 福岡 真優
卒業年度 2022年度 勤務先 松山市役所



先生へのメッセージ
ご無沙汰しております。松山におりますのでいつでもまた飲みなどご一緒できたら嬉しいです！

学生時代のメッセージ
友達と過ごす時間がこんなにも長いのは学生の間だけだとしても実感します。友達や研究室の仲間を大切にしたい。今しかない共同の時間を作ってください！

資格や韓国語などをたくさん勉強する。

社会の断面

辰年の不安と未知の未来への期待

2024年が始まり研究室は追い込みのムードが漂ってきている。今年も年明けから地震や航空機事故などショッキングな出来事が相次ぎ、すでに2024年の半分が終わったのではと錯覚してしまっているのではないだろうか。そんなスタートを切った2024年は辰年である。辰年は、権力や隆盛の象徴であることから、政治の大きな変化が起きることが多い年だといわれている。

5回しかない辰年のうちで3回目の総選挙が行われるなどまさに政治の年である。2012年の辰年では、東京スカイツリーが開業するなど大きな出来事が起きる年でもある。世界に目を向けてみると2024年は、ロシア大統領選挙をはじめとした世界的な「選挙イヤー」といわれている。また、フランスパリではオリンピック、パラリンピックの開催も予定されており、2024年は、辰年の例にもれず世界にとって重要な出来事や変革の年となる予感がする。

広がる白柳研の輪

3 回生の声をお届け

名前 岡崎佑士 出身 山口県
 趣味 漫画
 一言 めっちゃ頑張ります



名前 澤田咲季 出身 愛媛県
 趣味 ドライブ
 一言 今年も精一杯頑張ります



名前 的場風香 出身 広島県
 趣味 お笑いを見たり聞いたりすること・散歩・カメラ
 一言 今年も思う存分、大学生活を楽しみます！



名前 濱口海斗 出身 大阪府
 一言 いろんなことに挑戦する一年にしていきたいです！



名前 田中海也 出身 愛知県
 趣味 テレビ・ラジヲ
 一言 強い気持ちで頑張ります

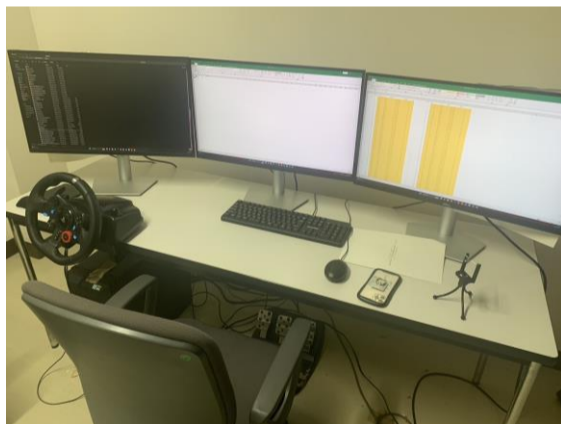


3 回生が起す風

昨年11月より都市計画研究室に配属された3年生たちは土木環境プロジェクト実習という授業にて与えられたテーマに沿った研究活動を行っている。先生方から与えられたテーマは「運転中の眠気防止策の考案」であった。毎年同じテーマが与えられるこの授業であるが、年度ごとに、特色ある3年生独自の視点から解決策を提案している興味深い内容である。本年度の白柳研3回生5

5人はギャンブル要素を含んだゲームを運転中に取り入れることで眠気を防止できるといふ仮説を立て、これの検証を行っている。具体的には、(株)任天堂のマリオカート内要素である「?ブロック」*に着目し、これをドライブングシミュレーターで再現することで仮説を検証しようと試みた。初めは慣れないプログラミングに苦戦もしたが、担当の先輩に教えてもらいながら、仲間と協力して取り組み、年始には実験を終え、現在はデータの分析を行う段階に入っている。1月末には半年の成果を報告する最終発表会を控える。卒業論文、修士論文の執筆も佳境を迎え、慌ただしくなってきた研究室ではあるが、3回生達の頑張りや研究室の他の学生に良い影響を与えていることも間違いなさそう。興味深い研究を行う彼らからも目が離せない。

*マリオカート内に出現する要素。取得するとランダムでパワーアップアイテムが与えられる。



環境構築段階のDSの様子

肱川での焚火イベント

有意義な交流のひととき

11月7日に、白柳研究室 だき参加した。この懇親の全メンバーが揃って、肱川では、大洲市で醸造されたクラフトビールや、大洲高校の生徒たち、大洲市役所の方々も含まれていた。はじめに、肱南エリアを3箇所に分けて班ごとにフィールドワークを実施した。各班に地図が渡され、気づいた点を地図に記入するなどして活動を行った。その後、焚き火の周りで1時間半にわたり、参加者たちは自由に意見を交換した。高校生が帰宅後、国土交通省の方々に懇親会のお誘いをいた



建設コンサルタントの業界に興味を持ち、その志向に基づいて就職活動を進めていました。特に印象深いのはエントリーシートの作成です。

初めは自分の意見だけでエントリーシートを作成していたため、一次選考で通らないこともありました。そこで、なぜこの業界に興味を抱き、なぜこの会社を選んだのかを明確にするため、先生や先輩方に相談しました。建設コンサルタント業界や就職活動自体に関する多岐にわたる意見を聞く中で、自分の軸を見つ

就活体験記 野添愛美 パシフィックコンサルタンツ

面接でも自分の意見や思いを伝えることに繋がります。第一志望の会社から内定をいただく大きな要因となりました。

このような経験を通して、実際に働く方の意見を聞くことは、就職活動だけでなく、将来のビジョンも具体的に描けるようになると感じました。他者の経験を通じて自分の意思や目標を明確にし、それを伝えることで、自分の今後の方向性がより良いものになることを学びました。